



高齢者みなさんの 「げんきづくり」

あたたかく犬山らしい社会で、ずっとずっと住み続けたいと思っ
てもらえる。そんな持続可能な犬
山にするためのまちづくりを進め
ていくにあたって、高齢者みなさ
んは、キーパーソンとして欠かせ
ない存在です。そのために、市で
は「健康寿命」を延ばす事業を展
開していきます。

【平均寿命と健康寿命…延ばすべ きは健康寿命】

日本は長寿大国と言われます。
でも、平均寿命と健康寿命には、
約10歳の開きがあります。この差
は大きい。平均寿命と健康寿命の
差が大きいほど、医療費や介護費、
家族の負担も大きくなります。

元気に年を重ねるためには、健
康寿命をどうやって延ばしてい
くかが重要です。医療費かからない、
介護費使わない、という高齢者み
なさんのげんきが、犬山のげんき
につながっていきます。

【犬山の高齢者みなさんはげんき】

この事実はうれしく、誇るべき
ことです。

犬山の高齢者みなさんは、介護
認定率が低く平均寿命と健康寿命
の差が小さい。つまり、げんきな
高齢者が多いということです。そ
んなみなさんが健康寿命を延ばし
ていただくことで、さらにげんき
づくりが加速します。

【健康寿命を延ばす取り組み

①～④】

健康寿命を延ばすためには、自
立した日常生活を送ることが重要
です。そのためには、身体機能や
認知機能の低下からみられる「フ
レイル」や認知症などを予防し、
介護のリスクを軽減させる必要が
あります。そこで、高齢者の虚弱
状態であるフレイル状態を早期発

見し、要介護状態にならずに健康
寿命を延ばすための取り組みを進
めます。

具体的には、①60歳と70歳の方
への成人歯科健診に口腔機能の
チェックを追加し、76歳のオーラ
ルフレイル健診を新たに開始しま
す。

また、②目のフレイル状態の早
期発見のため、犬山市独自の緑内
障検診の継続実施に加え、新たに
65歳と75歳を対象にアイフレイル
眼科検診を実施します。

さらに、③80歳までの3人に1
人が発症し、加齢などによる免疫
力の低下が原因となる帯状疱疹の
予防のため、帯状疱疹ワクチン予
防接種費用の助成制度を創設しま
す。

④認知症についても、決して他
人事ではないという理解を市全体
で深めて、早期発見、早期対策に
つなげるための仕組みづくりを進
めます。

げんきでやさしい犬山づくり
を、高齢者みなさんのげんきづく
りで前に進めていきます。